

名古屋経済

警備保障業をFC展開 東海セキュリティ

ISO水準の警備品質

自社ブランドで提供

警備保障の東海セキュリティ(本社名古屋市東区白壁三ノ二四ノ五八、黄元圭社長、電話052・9922・5454)は、警備保障業のFC展開に乗り出す。一年前から自社ブランド「PFA CE MAKER」を活用して事業展開した結果、FC展開も可能と判断した。FCには、同社が認証取得した品質ISOに基づき警備ノウハウを提供し、一定水準の警備品質を確保する。これにより、顧客には安全、安心感を与えることが可能になる。警備保障業でFC展開を始めるのは初めて。

開業資金抑える利点も

見込めるとみて展開を決めた。
二〇〇三年に品質保証規格「ISO9001」を業界で初めて取得し進出を検討する需要も



黄元圭社長

一九九三年設立。高速道路などの交通誘導警備、雑踏警備、身辺警護

などの業務を展開し、約三百八十社との取引実績を持つ。
FC展開では、従来から加盟を求める企業があったため、警備保障業務への参入が難しいことに加え、事業が軌道に乗るまでには費用と時間を費やす一方、新規事業とし

た。このシステムに、従来から蓄積した警備ノウハウを組み込むことで、高い警備品質の提供が可能になる。
また、「社では対応できない広範囲の受注には、構築したFC間で共有するため、開業資金が抑えられるメリットも生

「FC化により参入へのハードルが低くなり、当社にとっても営業エリア拡大に反映する」として当面、東海三県のFC加盟を募る。最終的には人口十二万人でFC一社の割合で全国展開を目指す考えだ。